

令和3年度第2回日本比較薬理学毒性学会拡大評議員会

日時：2022年2月5日（土）17:55~18:30

場所 Web 会議（Zoom）

出席者（敬称略、順不同）：

池田、白井、佐々木、石塚、大浜、斎藤、水野、向田、佐藤洋、園田、佐藤晃一、宇野、宮本、室井、東、三原、堀、村田、山口、山崎、江口、岡田、大谷、山脇、福山、梶

議題

1) 第5回春季研究会の幹事校について

日大薬理の山崎先生、山口先生が次回の幹事になることが承認された。開催日程については未定だが同時期になるように配慮する。次々回については、北里大学を幹事校として、オンライン開催も視野に入れて開催することを検討することになった。

報告事項

1) 学会の名称変更について

名称変更の件が獣医学会の理事会で承認され、去年10月から変更になったことが報告された。

2) 教科書について

令和3年3月に獣医薬理学〈第二版〉が出版された。来年度中には記載の誤りや誤植などに対応したい。間違いなどを見つけた場合には、本年3月いっぱいまでに池田先生(宮崎大学)あるいは堀先生(東京大学)へメールしてもらいたい。

3) 剰余金について

タスクフォース委員長の福山先生(麻布大)から以下の進捗状況の説明があった。

1 剰余金 150 万を今年度中に使用したい。用途としてはオンラインデマンド教材の作成費を中心に考えている。

2 薬理・毒性の動画リストを作って公募をする予定。

3 支出方法については獣医学会の会計係と相談の上、謝金ではなく、公募した上で支出することを検討している。

4 動画編集の外注や得意な先生への依頼も検討している。

4) 実習書の進捗状況について

堀先生(東京大学)から進捗状況の説明があった。締切(4/11)までに執筆を完了することが依頼された。執筆者の追加については編集部において弾力的に対応する。

5) 日本獣医学会が創設する学術集会優秀賞への日本獣医薬理学毒性学会奨励賞の移行について

池田先生から獣医学会の理事会で審議中との説明があった。

6) コアカリについて

佐藤先生(山口大)から提出されていない科目が複数あり、作業中との報告がなされた。

7) 第165回日本獣医学会学術集会の準備状況について

福山先生(麻布大)から開催日は9/6-8。オンライン開催が決定。オンデマンドではなくリアルタイムでの開催を検討しているとの報告があった。

8) 各大学・各研究室の近況報告、新任教員の紹介

日大と北大から新任教員・昇任教員の紹介があった。

- 9) 2022年3月開催の第95回日本薬理学会年会（鹿児島大学宮田会長）との共催シンポジウムについて池田先生から説明があった。「獣医療からヒト医療へ生きるバイオマーカーのトランスレーショナルリサーチ」と題して、3/7（月）、福岡国際会議場で8時45分スタートの予定。講演者は、北大の市居先生、池中先生、東大の村田先生。

- 10) その他